MAH-366D　NTJ6　2005年9月1日発行

TOSTEM トステム株式会社

アルファテラス ルーフタイプ　取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

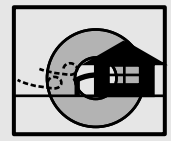
●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注　意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件



・方杖・縦枠の移動は、当社指定範囲内にしてください。
・母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。

・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
・崖っぷちなどの高低差のあるところには設置しないでください。

●躯体への固定
・方杖ブラケットおよび連結用ブラケットの固定は柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合、および躯体の強度が保持できない場合は取付けないでください。
・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合せをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
・金属製サイディングには取付けできません。

●部材の固定
・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるるまないように締付けてください。

●取付け時の足場について
・取付け時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

●パネルについて
・屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
・屋根の取付けは垂木へののみ込みが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。

●取付け上について
・みだりに改造・変更をしないでください。
・前枠の内観右側にブランドラベルが張ってあります。間口切詰めをする際には、ブランドラベルがなくならないようにしてください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項をお守りください。

●絶縁処理
・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので下記事項をお守りください。

●シーリングについて
・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

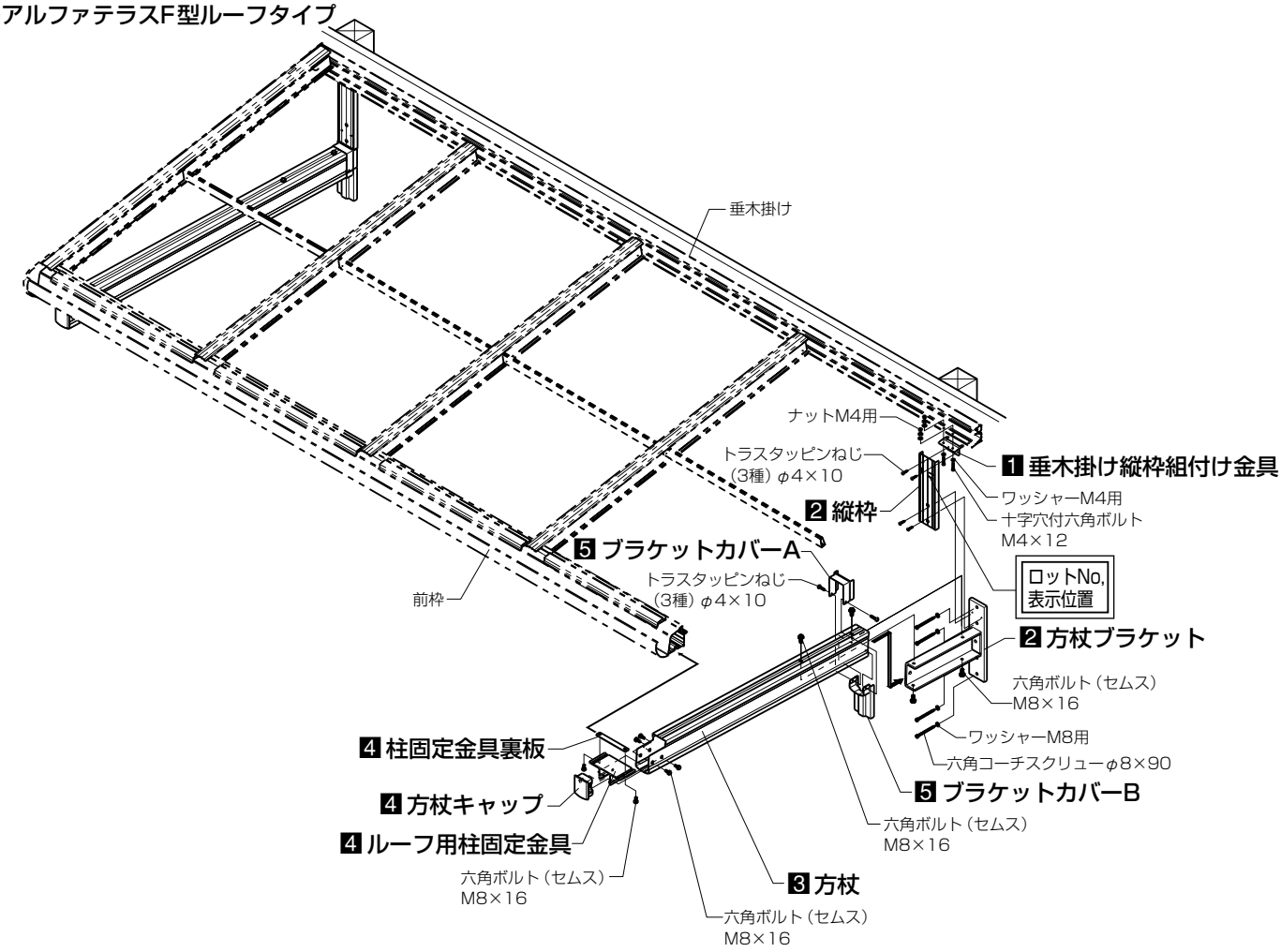
■取付け上のお願い

●水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
●取付けは専門業者が行ってください。
●当社指定の付属品以外は取付けないでください。

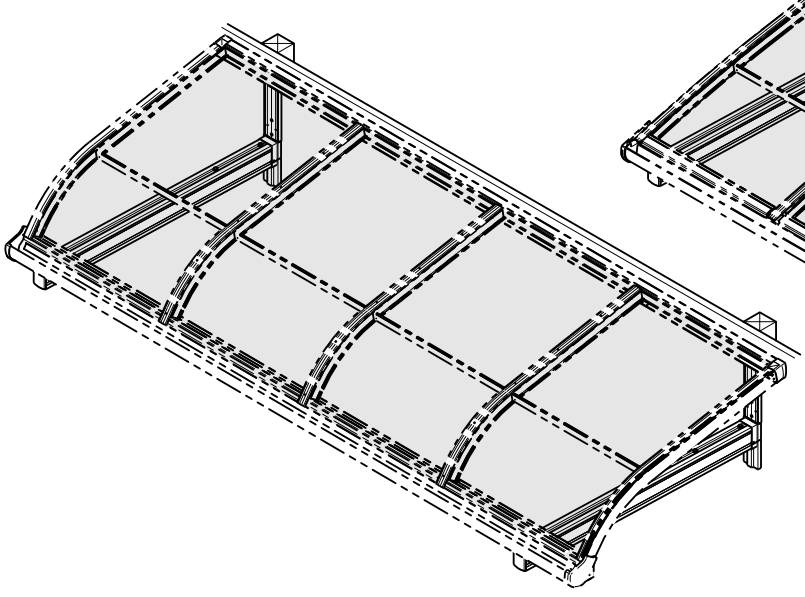
■構造説明図

●アルファテラスルーフタイプの取付けは本取付け説明書では方杖部分までとなっています。
それ以外はアルファテラス標準取付け説明書をご覧ください。

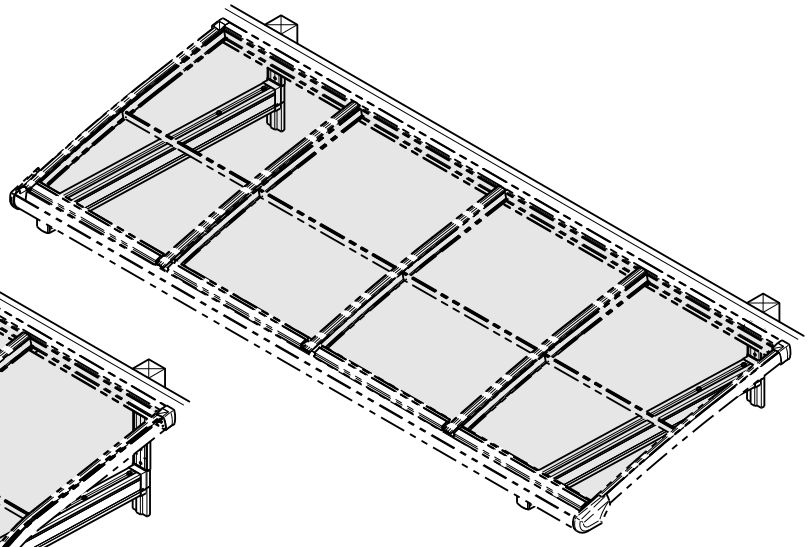
●アルファテラスF型ルーフタイプ



●アルファテラスRB型ルーフタイプ

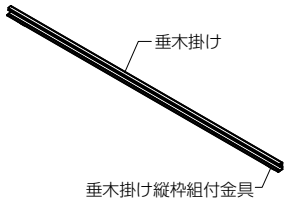


●アルファテラスL型ルーフタイプ

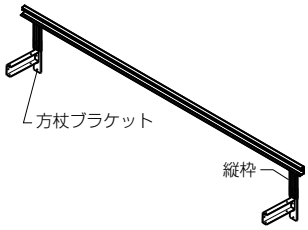


■取付け順序

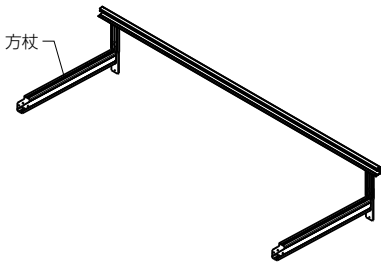
❶ 垂木掛けの加工・取付け



❷ 方杖ブラケット・縦枠の取付け



❸ 方杖の取付け



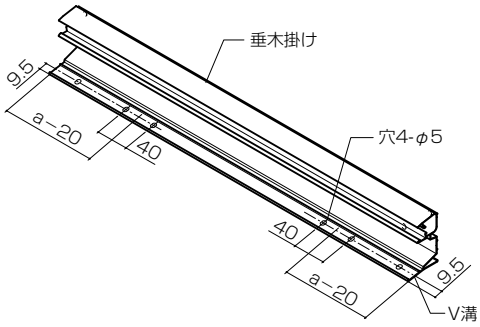
■取付け詳細

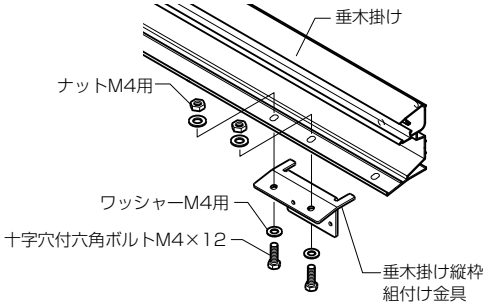
❶ 垂木掛けの加工・取付け

①姿図の寸法表のa寸法にしたがい、垂木掛けにφ5の穴加工をしてください。

②垂木掛け縦枠組付け金具を下図のように取付けます。

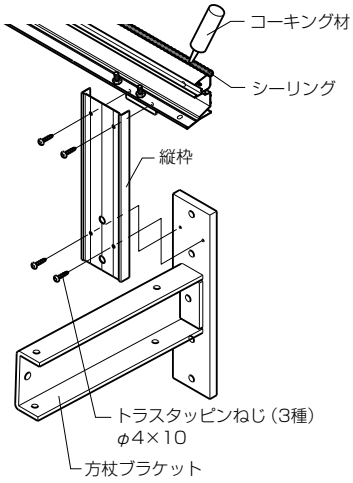
③垂木掛けをアルファテラス標準取付け説明書にしたがい、取付けてください。

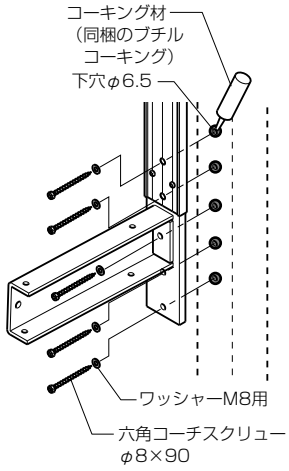




❷ 方杖ブラケット・縦枠の取付け

①方杖ブラケットと縦枠をトラスタッピンねじ（3種）φ4×10で固定します。
②縦枠と垂木掛け組付け金具をトラスタッピンねじ（3種）φ4×10で固定します。
③縦枠と方杖の垂直を出してから指定のねじで下穴をあけてから固定してください。



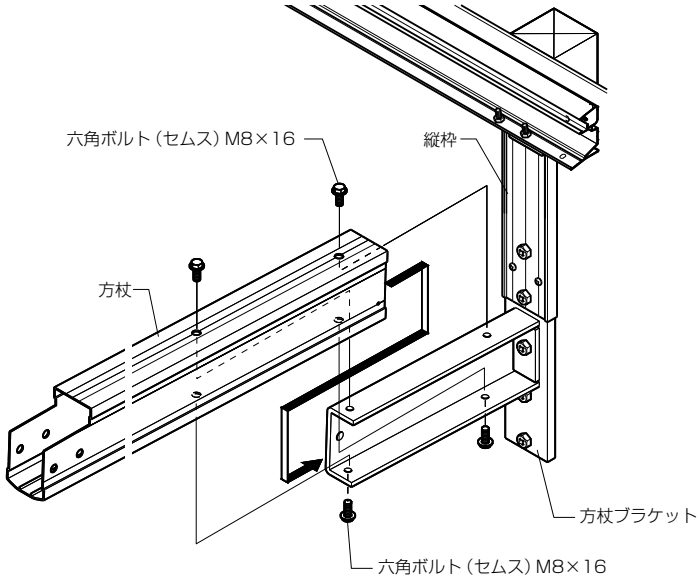


⚠ 注　意

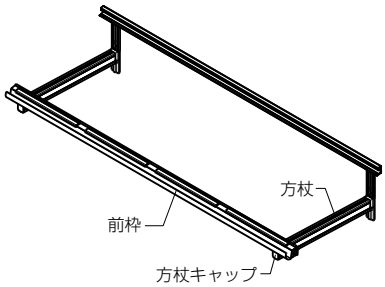
- ●方杖ブラケットの固定は柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。
- ●躯体が経年変化などで損傷が著しい時は、施主様と打合せをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ●指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

❸ 方杖の取付け

●方杖を方杖ブラケットに差込み、図のようにボルトで固定します。

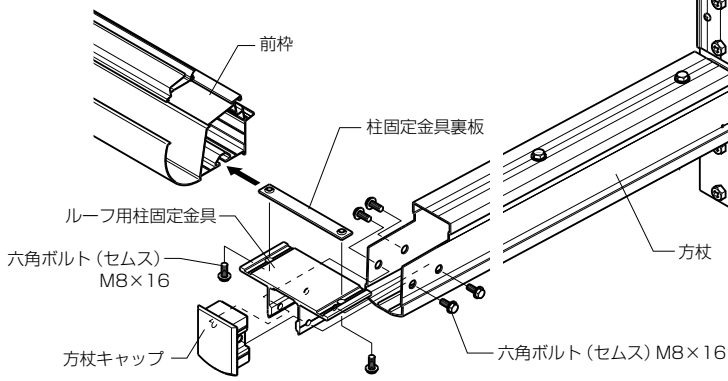


4 前枠の取付け・方杖キャップの取付け

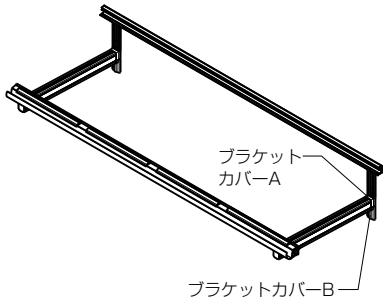


4 前枠の取付け・方杖キャップの取付け

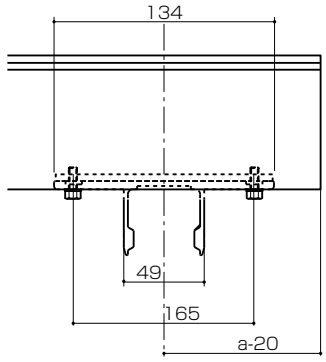
①柱固定金具裏板を前枠の溝に挿入し、ルーフ用柱固定金具とボルトで仮固定してください。
②姿図寸法表a寸法にしたがい図のようにルーフ用柱固定金具を固定します。
③前枠を方杖に取付け、方杖キャップを差込みます。
④ボルトで方杖と柱固定金具を固定してください。



5 ブラケットカバーの取付け

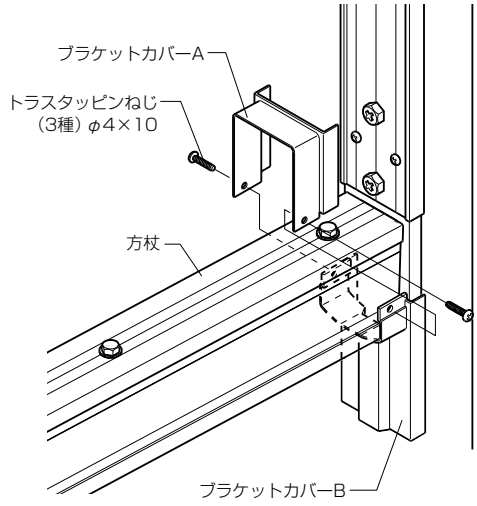


■ルーフ用柱固定金具固定位置



5 ブラケットカバーの取付け

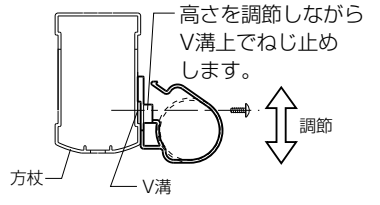
●ブラケットカバーA・Bを図のように方杖にトラスタッピンねじ（3種）φ4×10で固定してください。



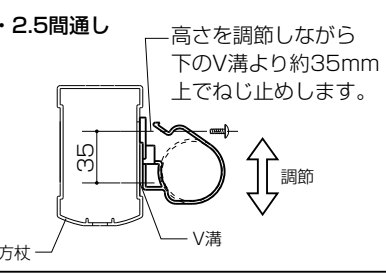
6 雨どいの取付け

■ルーフ用雨どいでんでん取付け位置

・2.5間通し以外



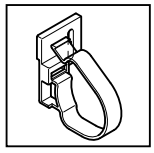
・2.5間通し



6 雨どいの取付け

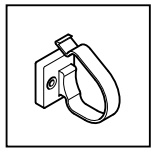
●雨どい、雨どい穴ふさぎキャップを図のように取付けてください。
※連棟時は両側に雨どいを取付けてください。
※方杖に取付ける雨どいでんでんと、躯体に取付ける雨どいでんでんは形状が違います。

・ルーフ用雨どいでんでん

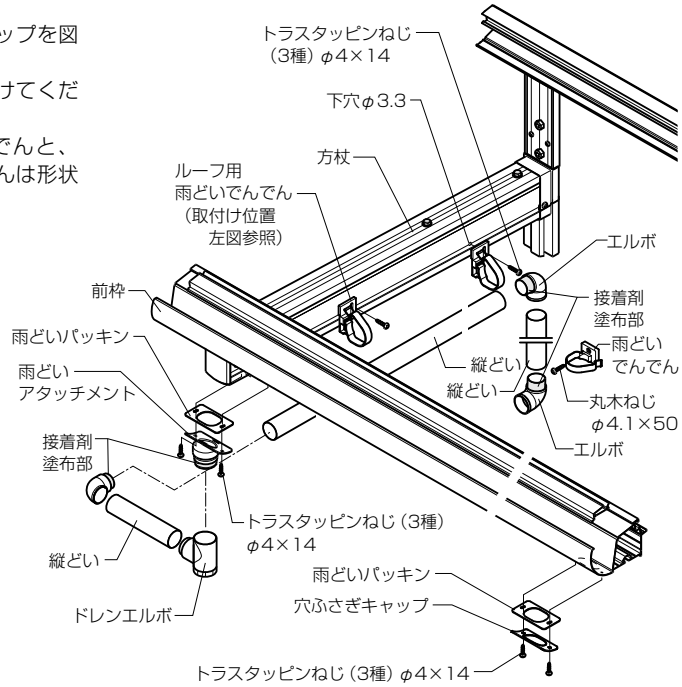


・2個入り
方杖に
取付けます。

・雨どいでんでん



・3個入り
躯体に
取付けます。

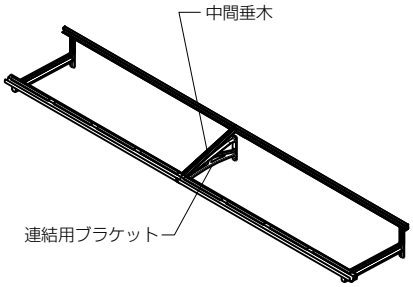


7 屋根部の取付け

※屋根パネル・垂木・野縁の取付けは、標準取付け説明書をご覧ください。

8 連結用ブラケットの取付け

※連棟の場合のみお読みください。



9 ルーフ用竿掛け（オプション）の取付け

7 屋根部の取付け

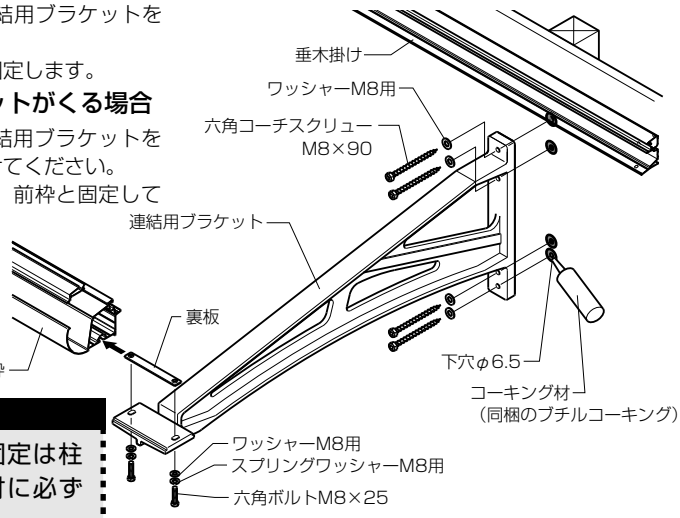
※屋根パネル・垂木・野縁の取付けは、標準取付け説明書をご覧ください。

8 連結用ブラケットの取付け

①躯体に下穴をあけた後、連結用ブラケットを取付けてください。
②前枠と連結用ブラケットを固定します。

■連結部に連結用ブラケットがくる場合

①躯体に下穴をあけた後、連結用ブラケットを仮止めし、中間垂木を取付けてください。
②連結用ブラケットを本締後、前枠と固定してください。

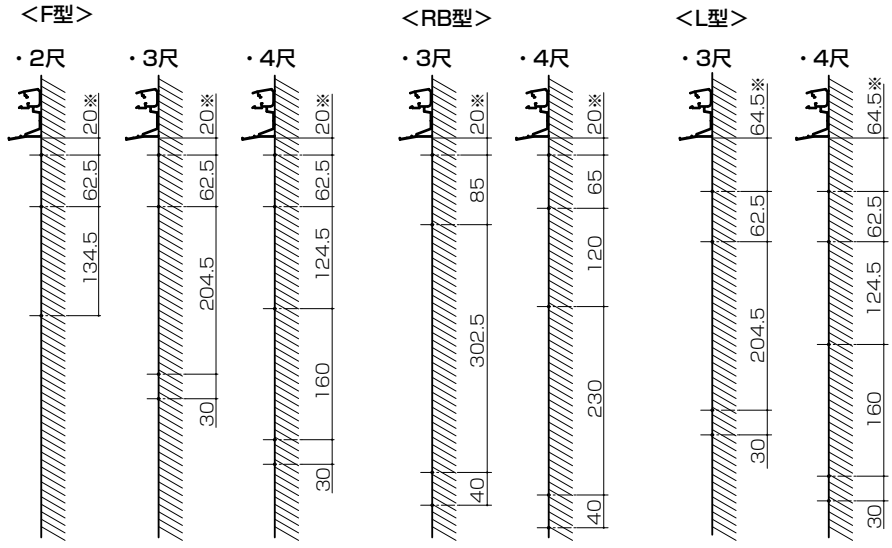


⚠ 注　意

●連結用ブラケットの固定は柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。

■下穴加工位置詳細図

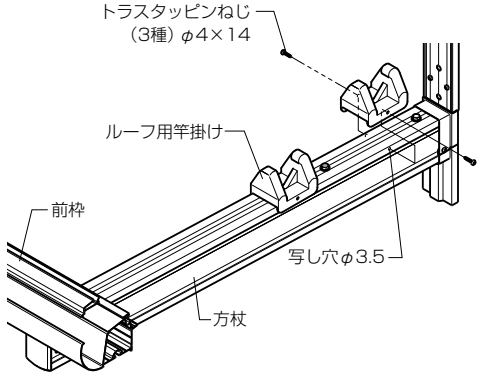
※下穴位置は下記を参照してください。

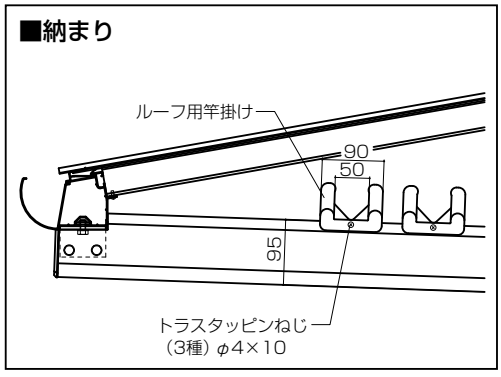


※2.5間を使用する場合は＋25mm。

9 ルーフ用竿掛け（オプション）の取付け

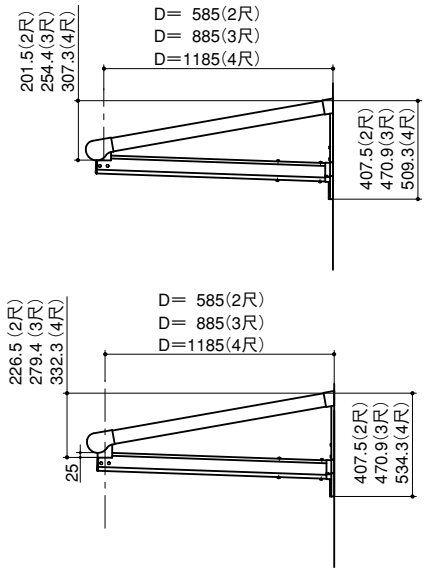
●方杖上の任意の場所に図のように写し穴φ3.5をあけた後、ねじ止めしてください。





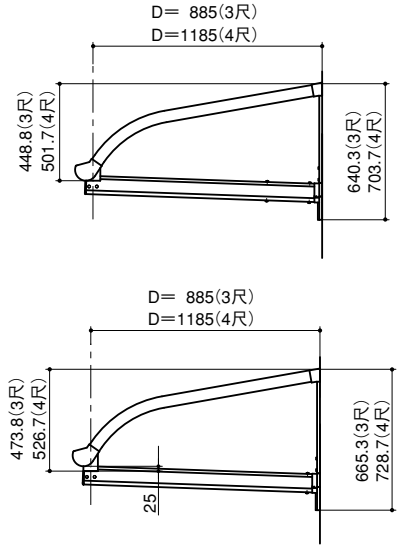
■姿図

●アルファテラスF型 ルーフタイプ



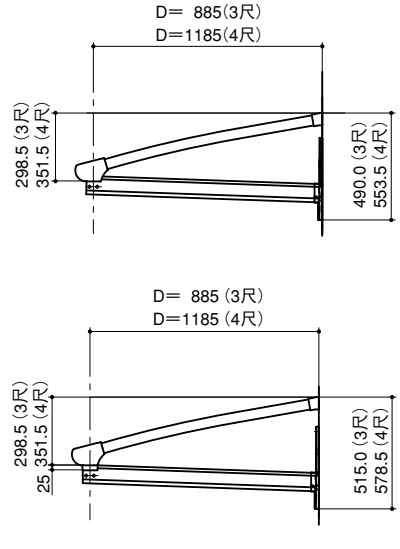
※2.5間通しの場合

●アルファテラスRB型 ルーフタイプ



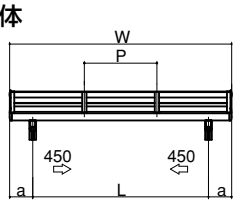
※2.5間通しの場合

●アルファテラスL型 ルーフタイプ

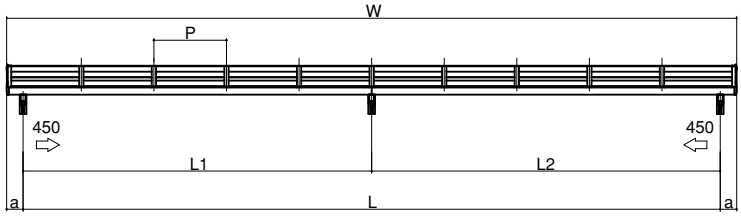


※2.5間通しの場合

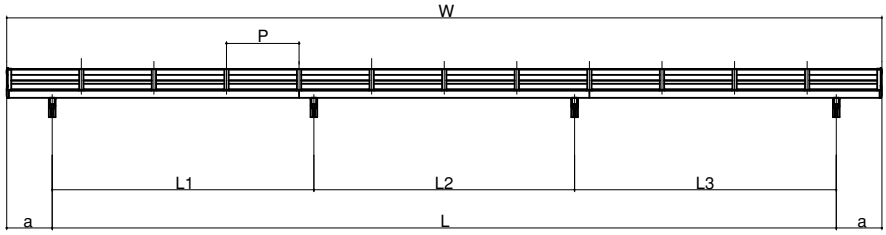
●単体



●2連棟



●3連棟



■寸法表

(mm)

間口	関東間						
	W	L	L1	L2	L3	a	P
0.5間	1560	930	—	—	—	315.0	760
1.0間	2320	1840	—	—	—	240.0	
1.5間	3080	2750	—	—	—	165.0	
2.0間	3840	3660	—	—	—	90.0	
2.5間通し	5360	4570	—	—	—	395.0	
2.5間(1.0+1.5)	5360	4570	1830	2740		395.0	
3.0間(1.5+1.5)	6120	5480	2740	2740	—	320.0	
3.5間(1.5+2.0)	6880	6390	2740	3650	—	345.0	
4.0間(2.0+2.0)	7640	7300	3650	3650	—	170.0	
4.5間(1.5+1.5+1.5)	9160	8210	2740	2730	2740	475.0	
5.0間(1.5+2.0+1.5)	9920	9120	2740	3640	2740	400.0	

(mm)

間口	九州・四国間						
	W	L	L1	L2	L3	a	P
0.5間	1710	975	—	—	—	367.5	835
1.0間	2545	1930	—	—	—	307.5	
1.5間	3380	2885	—	—	—	247.5	
2.0間	4215	3840	—	—	—	187.5	
2.5間通し	5885	4795	—	—	—	545.0	
2.5間(1.0+1.5)	5885	4795	1920	2875		545.0	
3.0間(1.5+1.5)	6720	5750	2875	2875	—	485.0	
3.5間(1.5+2.0)	7555	6705	2875	3830	—	425.0	
4.0間(2.0+2.0)	8390	7660	3830	3830	—	365.0	
4.5間(1.5+1.5+1.5)	10060	8615	2875	2865	2875	722.5	
5.0間(1.5+2.0+1.5)	10895	9570	2875	3820	2875	622.5	

(mm)

間口	関西間						
	W	L	L1	L2	L3	a	P
0.5間	1710	975	—	—	—	367.5	835
1.0間	2545	2055	—	—	—	245.0	
1.5間	3380	3010	—	—	—	185.0	
2.0間	4215	3965	—	—	—	125.0	
2.5間通し	5885	5045	—	—	—	420.0	
2.5間(1.0+1.5)	5885	5045	2045	3000		420.0	
3.0間(1.5+1.5)	6720	6000	3000	3000	—	360.0	
3.5間(1.5+2.0)	7555	6955	3000	3955	—	300.0	
4.0間(2.0+2.0)	8390	7910	3955	3955	—	240.0	
4.5間(1.5+1.5+1.5)	10060	8910	3000	2910	3000	575.0	
5.0間(1.5+2.0+1.5)	10895	9945	3000	3945	3000	475.0	

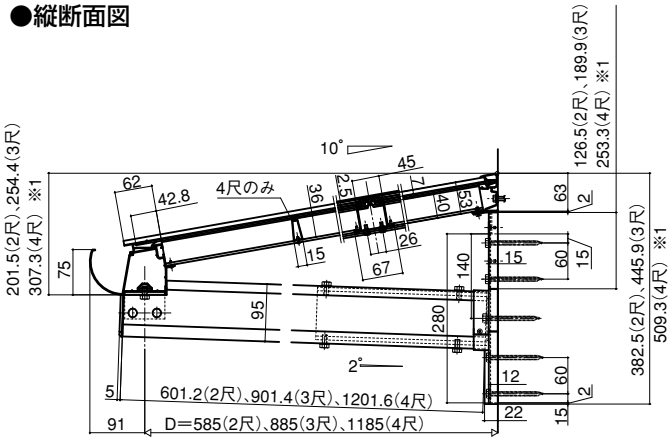
(mm)

間口	メーターモジュール						
	W	L	L1	L2	L3	a	P
0.5間	1710	1020	—	—	—	345.0	835
1.0間	2545	2020	—	—	—	262.5	
1.5間	3380	3020	—	—	—	180.0	
2.0間	4215	4020	—	—	—	97.5	
2.5間通し	5885	5020	—	—	—	432.5	
2.5間(1.0+1.5)	5885	5020	2010	3010		432.5	
3.0間(1.5+1.5)	6720	6020	3010	3010	—	350	
3.5間(1.5+2.0)	7555	7020	3010	4010	—	267.5	
4.0間(2.0+2.0)	8390	8020	4010	4010	—	185.0	
4.5間(1.5+1.5+1.5)	10060	9020	3010	3000	3010	520	
5.0間(1.5+2.0+1.5)	10895	10020	3010	4000	3010	437.5	

■納まり図

■アルファテラスF型ルーフタイプ

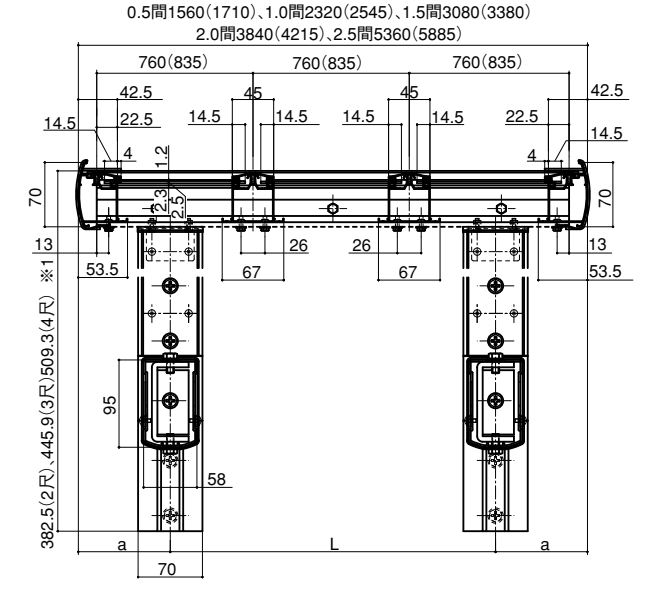
●縦断面図



※1、2.5間通しは＋25mm

関東間2.5間通し、2～4尺　　関西・九州四国間・メーター 2.5間通し、2～4尺　　2.5間通し、連棟 2～4尺

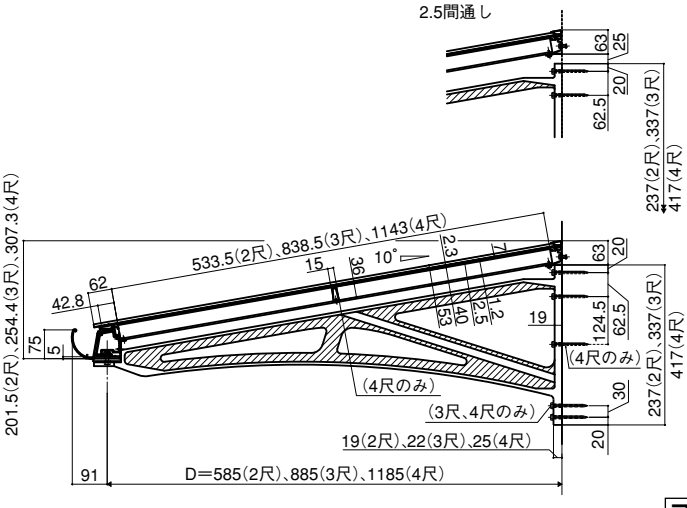
●横断面図



※ 2.5間通しは＋25mm

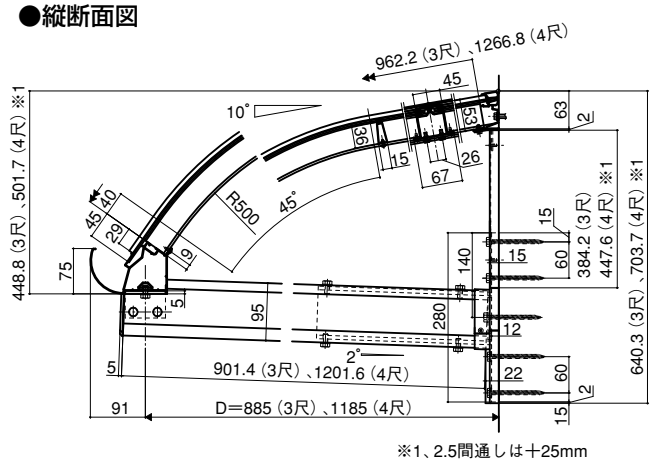
※（　）内寸法は関西・九州四国間・メーターを示す。

●縦断面図（連棟部）



■アルファテラスRB型ルーフタイプ

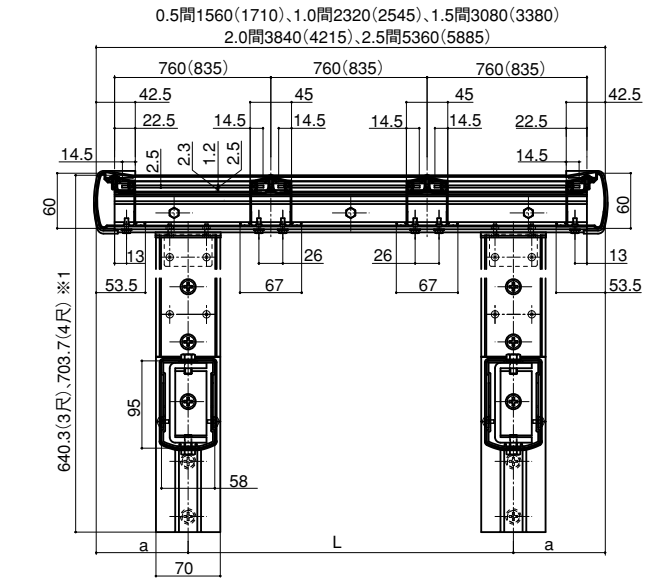
●縦断面図



※1、2.5間通しは＋25mm

関東間2.5間通し 3～4尺　　関西・九州四国間・メーター 2.5間通し、3～4尺　　2.5間通し 連棟3～4尺

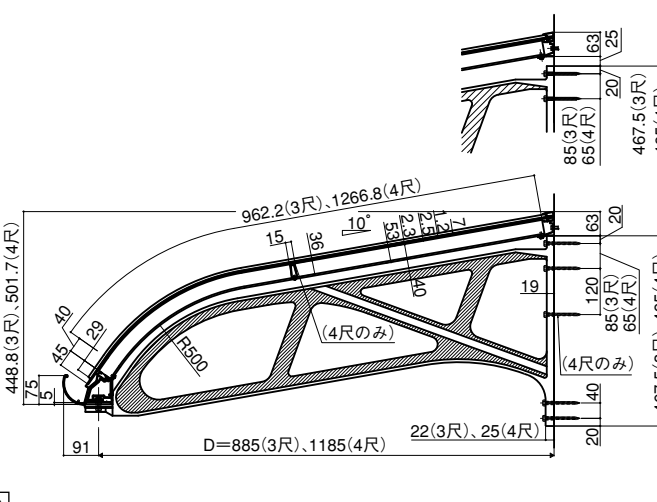
●横断面図



※ 2.5間通しは＋25mm

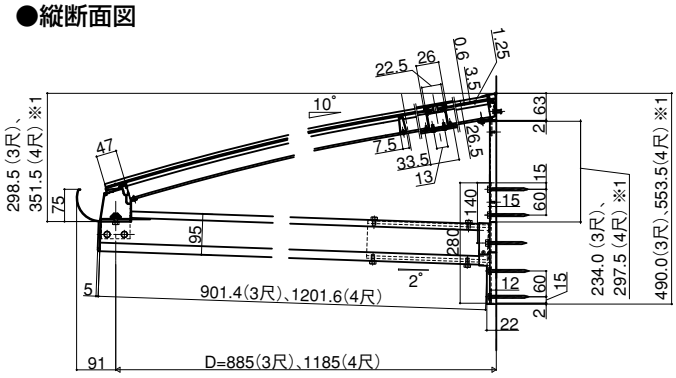
※（　）内寸法は関西・九州四国間・メーターを示す。

●縦断面図（連棟部）



■アルファテラスL型ルーフタイプ

●縦断面図



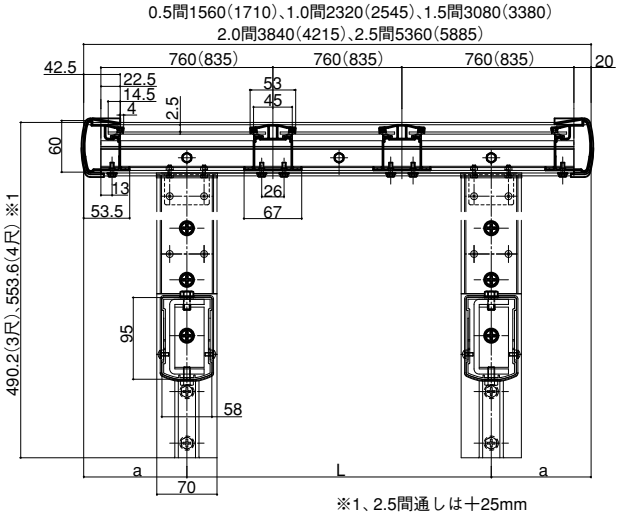
関東間2.5間通し、3･4尺

関西･九州四国間･メーター
2.5間通し、3･4尺

2.5間通し、連棟
3･4尺

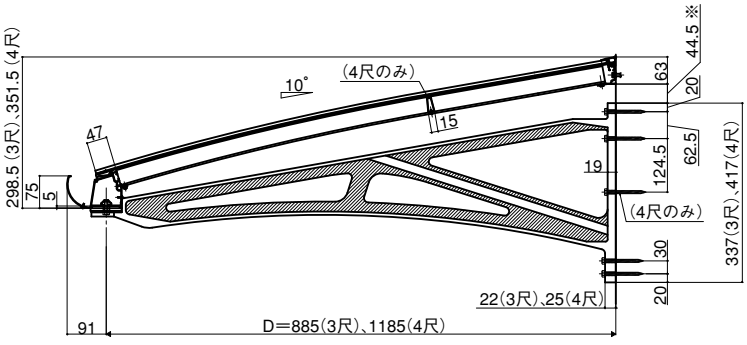
※1、2.5間通しは十25mm

●横断面図



※1、2.5間通しは十25mm
2、(　)内寸法は関西・九州四国間・メーターを示す。
a、Lは寸法表参照

●縦断面図（連棟部）



※2.5間通しは十25mm